Walking Course

快汗ウオーキングコース

市川から手児奈霊堂、里見公園をめぐり、矢切の渡しで江戸川を越え、柴又帝釈天を参拝するぶらり半日コース

市川市北西部の江戸川沿いに広がる国府台緑地は、クヌギ、ケヤキなどが広く分布、雑木林をぬって遊歩道が整備されており、四季折々の自然が楽しめるじゅん菜池緑地や里見公園などもあります。今回ご紹介するコースは、東京から近い散策地としてもよく知られている国府台緑地をぬけ、野菊の墓の舞台にもなった江戸川で唯一の渡し船で対岸の柴又へ渡り、帝釈天を参拝する見どころいっぱいの旅です。

●コース距離：10.2km
●歩行時間：約2時間30分

❶JR市川駅
↓1.0km
❷真間の継橋
↓0.2km
❸手児奈霊堂
↓0.2km
❹弘法寺
↓1.6km
❺じゅん菜池緑地
↓1.8km
❻里見公園
↓0.4km
❼国府台天満宮
↓2.6km
❽野菊の墓文学碑
↓1.4km
❾矢切の渡し
↓0.6km
❿柴又帝釈天
↓0.4km
⓫京成柴又駅

⓫京成柴又駅

明治32年（1899年）に帝釈人車鉄道の駅として開業。当時は終点であったが、大正２年に京成金町駅ができて中間駅となる。渥美清主演の映画「男はつらいよ」シリーズのほぼ全作に登場するこの駅が、今回の旅の終点。

❿柴又帝釈天

寛永６年（1629年）に顕経院日栄によって開創された日蓮宗の寺院で、正式名称は経栄山題経寺。二天門を入った境内正面の帝釈堂内殿の外側は全面に浮き彫りの装飾彫刻が施され、「彫刻ギャラリー」と称して一般公開されている。

❾矢切の渡し

江戸時代初期に江戸川の両側に田を持つ農民が、関所を通らずに江戸と往来したことから始まった。現在も矢切と対岸の柴又を結ぶ手漕ぎの渡し舟が運行されている。
＊運行日：３月中旬から11月末日まで毎日、それ以外の期間は、土・日・祝日と帝釈天の縁日で、お正月は10日頃まで運行される。

❽野菊の墓文学碑

矢切を舞台にした伊藤左千夫の作品「野菊の墓」を記念して建てられた。左千夫の門人である土屋文明の筆により、作品の一節が刻まれている。矢切の田園風景から江戸川を一望できる眺望スポットにもなっている。

❻里見公園

江戸川に面した台地上にあり、かつて下総国府が置かれ、下総国の政治・文化の中心地だった。16世紀には里見氏と北条氏の間で２度にわたる国府台合戦があったところで、古戦場の跡を見ることができる。

❼国府台天満宮

文明11年（1479年）に当地の鎮守として、太田道灌に拠って建立された。毎年１月17日に藁で２mほどの４体の大蛇を作り、村の四隅にある樹に結びつけて、今後１年間の邪気を祓う辻切り行事が行われている。

❹弘法寺

奈良時代に行基が真間の手児奈の霊を供養するために建立した求法寺がはじまり。平安時代に空海が伽藍を構えて弘法寺と改称した。境内には、日蓮の真刻と伝える大黒天を祀る大黒堂、伏姫桜と呼ばれる枝垂桜などがある。

❺じゅん菜池緑地

国分沼といわれたこの沼にはじゅん菜がたくさん生えていたことから、じゅん菜池と呼ばれ、近隣の農家ではじゅん菜を摘んで出荷したこともあった。池の周囲は緑豊かな木々に囲まれ、遊歩道も整備されている。

❶JR市川駅

駅の南口から直結の「ザ・タワーズウエスト」の45階が、無料の展望施設になっている。地上150mから360度の大パノラマが楽しめ、市内一円を見渡せる絶好のビューポイント。

❷真間の継橋

万葉の時代、真間川の入江にはいくつかの洲ができていて、その洲から洲に掛け渡された橋が、万葉集に詠われているので有名になった。現在はコンクリートの橋に、金属製の赤い欄干の小さな橋が架かっているだけ。

❸手児奈霊堂

その昔、真間の里に住んでいた伝説上の女性・手児奈を祀る霊堂。男たちが手児奈という美しい少女をめぐって争い傷つけ合うようになったため、手児奈は思いあまって真間の入り江に身を投げたという言い伝えに由来する。